未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマＢ：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]

整理番号	Ｂ－９

申請担当大学名 （連携大学名）	島根大学 （神戸大学、兵庫医科大学）計３大学
事業名	地方と都会の大学連携ライフイノベーション
事業責任者	学長　小林　祥泰

事業の概要

超高齢者社会の複雑化多様化したケアニーズに対応できる総合診療医育成のため、高齢化先進県の島根大学と近未来高齢化県の神戸大学、兵庫医科大学の３大学が連携して相互補完を図るとともに県市町村、関連医療機関・団体との連携による地域包括ケア人材育成体制を構築する。各大学の総合診療医育成コースに加え、①地域包括ケアに関する経営能力を備え、現場で多職種と連携して包括ケアを管理できる。②自ら地域包括ケアの課題を把握し、研究を遂行する。③地域住民の視点に立ち、グローバルリーダーとして活躍できる人材養成プログラム等を選択履修するコース等により、リサーチマインドを持った、地域包括ケアに貢献できる総合診療医を育成する。このため、島根大学は主導的地域包括ケア人材養成拠点、神戸大学はグローバルリーダー養成拠点、兵庫医科大学は都市型地域包括ケア人材養成拠点として、関連機関との間で地域包括ケアコンソーシアムを運営する。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：改善を要する点等

○医師不足の深刻な地方の大学(島根大学)と都会の 2 大学(神戸大学、兵庫医科大学)の連携に基づいて高齢社会における地域包括ケアを視野に入れた事業である点は優れている。
○地域性の違う２県３大学の連携により、リサーチマインドを持った総合診療医育成を実現するというコンソーシアム構想は魅力的である。
○大学間連携を通じて国際的視野を持った総合診療医の育成を目指している点は優れている。
○３大学それぞれの特徴を活かした教育コースが、医学生、初期・後期研修、大学院、キャリア変更の各レベルで用意されている。
○地域包括ケアをフィールドとして臨床研究人材養成を計画している。
○特に兵庫医科大学の博士課程はリサーチマインド育成に有用であると考えられる。
○受入れ人数は少ないが、女性医師に特化した教育コースも設定されている。
○実施・連携・評価体制は、委員会の構成等についても具体的に記述されている。
●総合診療医と内科総合医の区別が明確でなく、どのように異なった教育が行われるか不明である。
●リサーチマインドに関する教育内容の更なる充実が必要ではないか。
●大学間の連携実態とコンソーシアムの役割が不明確である。
●実際に提示されたプログラム内での連携（特に島根大学と兵庫医科大学）を充実する必要がある。
●事業費用の内訳では、教育用シミュレーターの充実に重点が置かれているが、費用対効果が求められる。